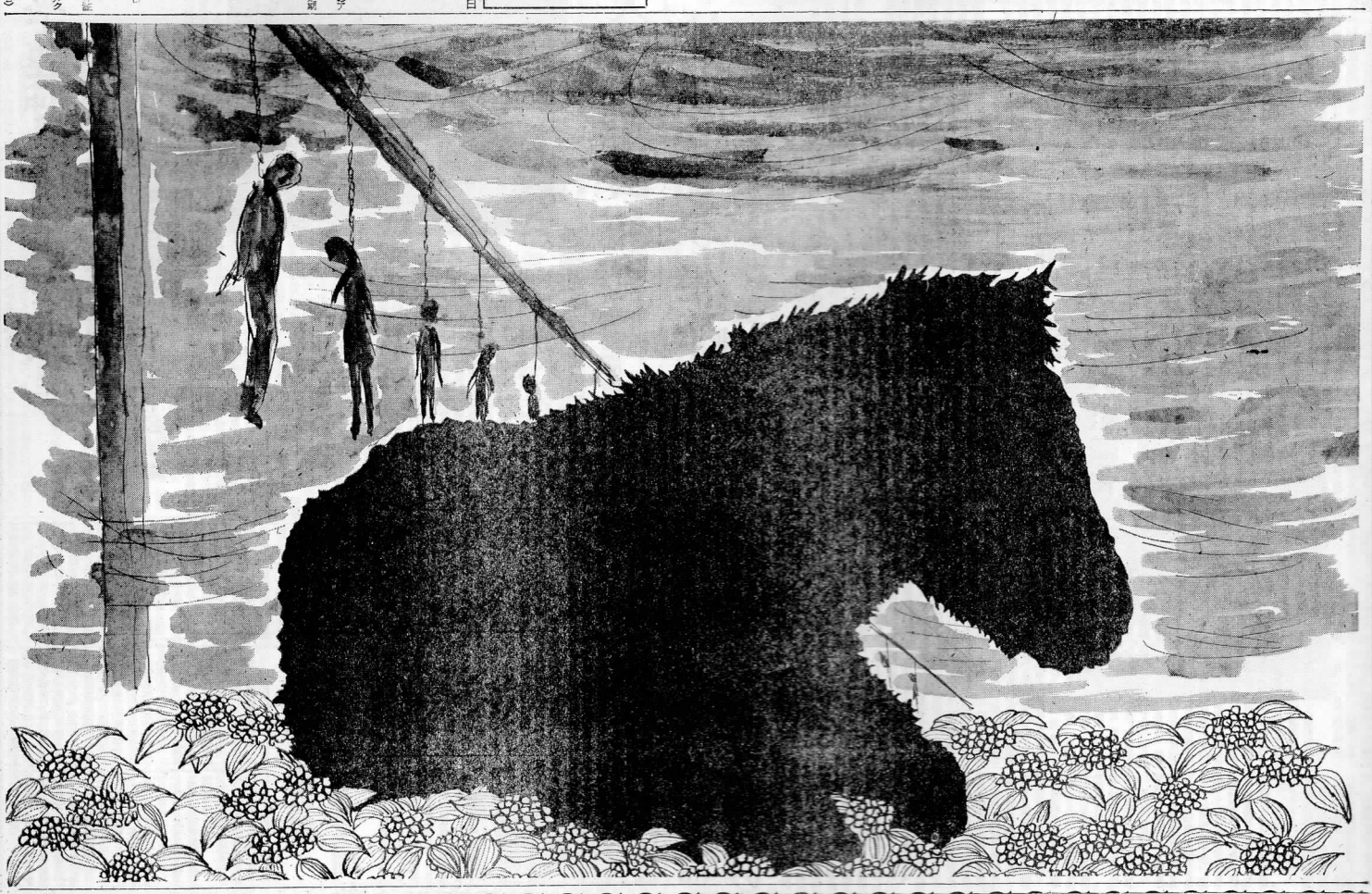
1970
7月20号
第691号
発行／毎月 20日 1部15円
年決・年間150円振替東京76839

工業大学新聞

東京工業大学新聞部会新聞部■目黒区大岡山2—12—1■電話（726）1111・内線（2392）

6月20日・7月20日合併号〈紙面案内〉
7月20日号
一面　幻の日本革命党
二面　船舶・中小企業調査案全貌の7ページ　後期生命保険（中間報告）　六八国際駅伝大会　山岳・流水部に有望選手入部殺到
6月20日号
一面　六月安保闘争　六・三ストー明治公園　六・八学生大会他　自治講演
二面　自治・六月闘争の総括と内部問題へ
三面　若槻優吾・世界「武器輸出」証言　法人・若槻優吾回顧　（談話）・若槻優吾インタビュー　公害業界の現状
四面　（談話）学生の移転と問題（3）



幻の日本革命党

ナースなどにエッフェル塔に訴えれ、恋と舞踊とパリ、真紅の赤旗、ブラックブラック、エッフェル塔に訴えれ、恋と舞踊とパリ、真紅の赤旗、ペトロン教会が立った。英雄の誇り高きフランスでは、学生革命はどうなるか。

われ日本では、全共闘風の何だろうかいいのか？　学生の問題だけでなく、国民の問題だ。国土開発、公害問題、農業問題、大学問題、安保問題、沖縄問題、教育問題、福祉問題、物価問題、住宅問題、交通問題、医療問題、労働問題、人権問題、国際問題、外交問題、軍事問題、経済問題、文化問題、科学技術問題、宗教問題、哲学問題、芸術問題、スポーツ問題、レジャー問題、ファッション問題、ヒッピー問題、ヒッピー問題、ヒッピー

全学連（中核系）第28回定期全国大会開催さる

―開会総会日比谷野音に五千名結集

全学連（中核系）第二十八回定期全国大会は、昨年六月の二十六日闘争を含めた一年間の闘いの総括と、七月二九日の第五回定期大会以来、七ヶ月間の闘いの方向を討議する為、全国の代表による全学連大会が、七月二十日から三日間にわたって開催された。今回の大会は、大会第一日目の二十日、日比谷野音に集まった五千名の学生・労働者・市民の前で、大会開会宣言がなされ、次に、来賓の挨拶が行なわれた。

7・19 日比谷野音開会総会

大会は四日間にわたって次のような日程で行なわれた。

【第一日目】大会初日は、日比谷野外音楽堂に、五千名近くの学生（全国各地から）が集まり、大会宣言が行なわれた。

【第二日目】大会第二日目は、日比谷公園に集まった学生・労働者・市民の前で、「日帝国内、アジア侵略の現状」、「七・七闘争の総括」、「沖縄・安保・教育問題」、「ベトナム・アフガニスタン・ラオス・カンボジア・ビルマ・ルーマニア・ハンガリー・ポーランド・ソ連・中国・朝鮮・ベルギー・ドイツ・ブルガリア・ユーゴスラビア